

会 議 録

会議の名称	平成29年 第11回 白岡市教育委員会定例会
開催日	平成29年9月14日(木)
開催時間	午前9時31分 開会 ・ 午前11時16分 閉会
開催場所	白岡市役所 4階 会議室403
教育長の氏名	長 島 秀 夫
出席者(委員等)の氏名	長 島 秀 夫 村 田 裕 滋 清 水 律 子 牛 田 文 子 新 井 二 郎
欠席者(委員)の氏名	
説明員の職・氏名	教 育 部 長 野 口 仁 史 参事兼教育総務課長 河 野 彰 参事兼教育指導課長 辻 文 明 生涯学習課長 齋 藤 久
事務局職員の職・氏名	教育総務課課長補佐 岡安久美子 主査 木村真由美
点検評価員	佐山 千鶴子 石塚 敏雄
会議次第	開会 日程第1 会議録署名委員の指名 日程第2 委任事務等報告事項 日程第3 その他の事項 閉会
配布資料	別添のとおり
傍聴者数	2人

議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
長島教育長	<p>1 開会</p> <p>平成29年第11回白岡市教育委員会定例会への出席に対し謝意を表す。</p> <p>出席者5名で定足数に達しているため平成29年第11回白岡市教育委員会定例会の開会を宣した。</p>
長島教育長	<p>2 日程第1 会議録署名委員の指名</p> <p>白岡市教育委員会会議規則第15条の規定により村田裕滋委員及び牛田文子委員を指名した。</p>
長島教育長	<p>3 日程第2 委任事務等報告事項</p> <p>委任事務等報告事項の1の区域外就学について3件、2の指定校変更について3件、及び3の平成29年度就学援助の認定についての5件は、個人に関する情報が含まれるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定に基づく3分の2以上の委員の同意により非公開となったため、傍聴人に一時退席を求めた。</p> <p>(傍聴人一時退席)</p>
長島教育長	<p>委任事務等報告事項の1から3について事務局に報告を求めた。</p>
野口教育部長	<p>委任事務等報告事項の1から3について概要説明を行った後、辻参事兼教育指導課長に詳細説明を委ねた。</p>
辻参事兼教育指導課長	<p>報告第1 区域外就学について 別添資料に基づき報告を行った。</p>
〃	<p>報告第2 就学すべき学校の指定の変更について 別添資料に基づき報告を行った。</p>
〃	<p>報告第3 平成29年度就学援助の認定について 別添資料に基づき報告を行った。</p>
	<p>(非公開案件につき内容省略)</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
長島教育長	<p>ほかに意見等を求めたが意見等がなかったため、委任事務等報告事項の1から3について報告済みとした。</p> <p>(傍聴人入室)</p>
長島教育長	<p>次に委任事務等報告事項の4について事務局に報告を求めた。</p>
野口教育部長	<p>委任事務等報告事項の4について総括的な説明を行った後、河野参事兼教育総務課長に詳細説明を委ねた。</p>
河野参事兼教育総務課長	<p>報告第4 専決処分について(補正予算) 別添資料に基づき報告を行った。</p>
長島教育長	<p>委任事務等報告事項の4について委員からの質疑等を求めた。</p>
A委員	<p>小学校・中学校施設設備維持管理事業だが、調査対象となる学校はどこか。</p>
河野参事兼教育総務課長	<p>市内全ての小・中学校10校である。</p>
A委員	<p>了解した。</p>
B委員	<p>文部科学省からマニュアルの通知がきているとの事だが、調査は誰が実施するのか。</p>
河野参事兼教育総務課長	<p>専門的知識が必要なので、業務委託で建築士の資格を持った業者に委託する形で考えている。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
B 委員	総合的な調査となると思うので、きちんと調査してもらおうよう職員を現場に同行させるなどして対応をお願いしたい。
河野 参事兼教育総務課長	承知した。
C 委員	基礎データを作成するとの事だが、どのくらいの期間がかかるのか。
河野 参事兼教育総務課長	今年度中に終了する予定である。
C 委員	了解した。
B 委員	給食設備機器更新事業だが、この更新というのは、前々から更新時期は予測するものかと思う。補正で要求する、更新するというの、考え方に疑問が残る。当初予算の範囲で執行するのが本来かと思ったが如何か。
河野 参事兼教育総務課長	おっしゃるとおりである。補正予算は緊急性のものが対象である。計画的に更新するものは当初予算で対応する。今回は修繕をしようとしたが、現在使用できない状態であった。機械によっては耐用年数が過ぎても大丈夫なものもあれば、年数が到達しなくても使用できなくなってしまうものもある。今回は修繕を何度か重ねたが使用できなくなってしまったので補正予算の対応となった。
B 委員	緊急性があったとのことでした。
長島教育長	ほかに意見等を求めたが意見等がなかったため、委任事務等報告事項の4について報告済みとした。
長島教育長	委任事務等報告事項の5について事務局に説明を求めた。

発言者	議題・発言内容・決定事項
野口教育部長	<p>報告第5 9月議会定例会一般質問について</p> <p>委任事務等報告事項の5について総括説明を行った後、続いて詳細説明を行った。</p>
長島教育長	<p>委任事務等報告事項の5について委員からの質疑等を求めた。</p>
B委員	<p>第10通告者の英語教育についての対応だが、文部科学省からの通知で、枠の中で週何時間指導をなさいと決定がなされていると思うが、当市においてはどのような時間を使って決められた時間を確保するのか考え方を伺う。</p>
辻参事兼教育指導課長	<p>授業時数をどの様に確保するか研究をしており課題としている。何かの教科を減らすことは学習指導要領で決定しており無理である。平成30、31年の移行期間については、週15時間の増設と言う指示がでていますが、この2年間については、総合的な学習の時間を15時間まで使うことは可能であると国からも通知があり、色々と案が出されたところである。教育委員会としてもメリット、デメリットを検討した結果、国の方針の一つである、高学年は、総合的な学習の70時間の内15時間を捻出する提案を学校にしたところである。平成32年度から本格実施となり一週間に1時間増えるのは確実であるが、総合的な学習時間はもとに戻ってしまう。新たに35時間をどう捻出するか、この2年の間に教育委員会として方針を決定しなければならないと考えている。</p>
B委員	<p>了解した。</p>
長島教育長	<p>朝の時間を利用して一週間で15分、3回実施して45分と言う国からの案もあるようだが、当市としては、続けて45分で考えていきたい。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
D 委員	<p>第 13 通告者の質問についてだが、生徒たちは通常学級へ行って一緒に授業を受けることもある。通常学級では少し難しいということで特別支援学級でと言う流れだと思うが、基本的に通常学級で授業を受けて構わないと思う。特別支援学級の子どもたちは、本人のカリキュラムを組んで実施していると思うが、行ったり来たりの環境で通常親学級の子どもたちと仲良くし、特別支援学級の子どもたちとも仲良くすると言うのは、本人は戸惑いとかないだろうか。少し負担ではないかと思う。教育委員会でもサポートし、指導や見守り等していただきたいと思う。</p>
辻参事兼教育指導課長	<p>子供たちの籍は特別支援学級に置いてある。通常学級で学習する事によってよい効果がある場合もあり、通常学級の子どもたちにとっても、ふれ合うことでよい機会がもてる。将来自立も含めて積極的に進めていきたい。保護者の同意が必要だが、現在は、障害の程度にもよるが、音楽、芸術、体育については積極的に取り組んでいる。配慮も十分必要だが、今後も続けて行きたいと考えている。</p>
D 委員	<p>よろしく願います。</p>
B 委員	<p>特別支援学級の公開についてだが、一般的には、各家庭で公開を受入れる雰囲気があるのかどうなのかお伺いたい。</p>
辻参事兼教育指導課長	<p>デリケートな問題として認識している。議員さんからは積極的に公開してはいかかと言う提案であった。公開することのメリットもたくさんある。しかし、そっとしておいて欲しいと言う保護者もいると思う。子供たちの発表の場でもあり、初めての方が見に来られて、本人が戸惑ってしまい、うまく発表できない場合も考えると、自由に受入れるのは少し難しいことではないかと思っている。教育委員会としては、理解をしていただくことは大切な事だと思っている。現在実施している公開授業などで、少し見ていただくと言った形では良いと思う。保護者全員の意見が一致すれば可能かと思うが、多数決では実施はできないのではないかと考えている。</p>
B 委員	<p>了解した。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
C 委員	特別支援学級の生徒同士の交流会は、年 1 回か、定期的なものであるか。
辻 参事兼教育指導課長	交流会は年に 3 回実施している。1 年間の成果発表は、年度の最後に実施している。年によって違うが、例えば、2 学期の秋頃、焼き芋交流会を実施したりしている。
C 委員	特別支援学級の生徒たちだけで準備をするのか。
辻 参事兼教育指導課長	そうである。
B 委員	先生方同士の情報交換、交流は如何か。実施回数を多くして対応を高めていき、伝える事によって次の対応が考えられると思っている。是非今まで以上に回数を増やしていただきたいと思う。
辻 参事兼教育指導課長	おっしゃるとおりである。横のネットワークは重要である。子供同士や保護者同士の交流の実施し深める、教員同士の情報交換、特別支援学級だけではなく、広く交流を持ちたいと思っている。就学支援委員会を定期的に開催しているが、この会議の中でも委員として参加しており意識的に意見交換をしている。今後、研修会などを通して専門の方からの指導を受け、対応の仕方などを高めていきたいと考えている。
長島教育長	学校内は色々な年齢や職種の方々がいる。皆で見守っていくところが学校である。教員同士の情報交換は結構実施しているようである。管理職だけの力ではないが、困った事が何でも言えるような学校にしていけるように校長会、教頭会、全員研修会など機会を捉えて指導、助言していきたいと思う。
長島教育長	ほかに意見等を求めたが意見等がなかったため、委任事務等報告事項の 5 について報告済みとした。

発言者	議題・発言内容・決定事項
<p>長島教育長</p> <p>河野 参事兼教育総務課長</p> <p>〃</p> <p>辻 参事兼教育指導課長</p> <p>〃</p> <p>齋藤 生涯学習課長</p>	<p>4 日程第3 その他の事項</p> <p>その他の事項について事務局に説明を求めた。</p> <p>(1) 小学校の校庭における空間放射線量測定結果について</p> <p>(2) 白岡市学校給食新メニューネーミングコンテストについて</p> <p>(3) 白岡市学校生活における食物アレルギー対応ガイドラインについて</p> <p>(4) 平成30年度埼玉県公立小・中学校等校長・教頭候補者選考試験出題内容について</p> <p>(5) 全国学力学習状況調査結果の公表について</p> <p>(6) 8月の生涯学習課諸事業結果報告について</p>
<p>長島教育長</p>	<p>その他について、意見等を求めた。</p>
<p>A委員</p>	<p>食物アレルギーのガイドラインについてだが、この概要版が保護者へ配付されるのか。</p>
<p>河野 参事兼教育総務課長</p>	<p>この概要版（ポイント）とアレルギー関係の提出書類があるが全保護者に配布する。</p>
<p>A委員</p>	<p>保護者からの問い合わせや、読んでも理解できない部分があった場合、教育委員会はどのような対応を考えているか伺う。</p>
<p>河野 参事兼教育総務課長</p>	<p>教育委員会では、保護者に対し概要の説明会を11月に開催する予定である。しかし、個々の対応は学校ごとになる。</p>
<p>A委員</p>	<p>了解した。続けて質問になるが、除去された場合の給食費の支払はどうなるのか。返金となるものは何かあるか。</p>
<p>河野 参事兼教育総務課長</p>	<p>牛乳のみ返金して対応している。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
<p>D 委員</p> <p>辻 参事兼教育指導課長</p>	<p>管理職試験の件だが、人数的には去年と比べてどうか。また、出題傾向について予想しながら独自の勉強会を実施しているか。</p> <p>人数は、他市に比べて当市は多い。今年は女性の志願者もいた。管理職選考を望む志願者、特に教頭が少ないと聞いている現状だが当市は多い。</p> <p>5～7月に問題の傾向、講話、面接等の学校経営研修会を工夫しながら実施した。管理職になった後も見据えて、同じような傾向については、研修会の中でも行っている。</p>
<p>A 委員</p> <p>辻 参事兼教育指導課長</p>	<p>全国学力学習状況調査結果についてだが、当市においては概ね良好との説明であった。テストが終了したから終わりではなく、同じテストを何度も繰り返し実施することも良いかと思うが如何か。積み重ねることが必要かと思う。</p> <p>ご指摘いただいたとおりである。教育委員会も学校も同じ考えである。埼玉県の問題は回収されてしまうため教育委員会でも手元にない。全国学力学習状況調査は問題を持ち帰れるので、既に自宅でも取組みをしている学校もあると聞いている。慣れることの大切さもあり、必要な力をつけさせ結果に結びつけられるよう校長会でも話をしていきたい。</p>
<p>C 委員</p> <p>辻 参事兼教育指導課長</p>	<p>読むことで成績がアップしているのではないかとの説明もあった。学校図書補助員の方々の力も大きいと考えている。今後も図書室の増冊をお願いしたい。また、子どもたちに直接アドバイスなど出来る補助員の増員もお願いしたい。</p> <p>身近に本があることで触れ合い親しむことができる。近隣も読むことについては、力を入れているが他市と比較して当市も素晴らしいと思っている。補助員の方の増員も学校現場から要望を頂いており、働きかけをしていくよう努力する。蔵書数は勿論だが、市立図書館、図書室の貸出しで、より多くの本に親しむよう努力していければと思う。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
齋藤 生涯学習課長	<p>学校図書室、市立図書館との連携だが、図書館司書が学校へ出向き、先生方・子供たちと話す機会もあり、協力できるところは積極的に協力していく。生涯学習センターのオープンに備えて、蔵書を9万9千冊から22万冊まで段階的に増やす予定である。平成30年10月1日までに5～6万冊整備していき、共有の財産として活用していく事により、更に学校との連携を充実させていきたい。</p>
長島教育長	<p>他に意見等を求めたが意見が無かったためその他の事項について終了した。</p>
長島教育長	<p>5 閉会</p> <p>以上ですべての日程を終え、閉会を宣した。</p> <p>以下余白</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

教 育 長

議事録署名委員

議事録署名委員